

リハビリテーション科：治療器具について

前回、当科にて満足度調査を行いました。その結果、治療器具についての項目の認識が低い結果となりました。そこで今回、患者様、ご家族様へリハビリ科の治療器具にどのようなものがあるか、目的は何かということを知って頂き、リハビリに対しての理解を深めて頂くため掲示させていただきます。簡単ではございますがぜひご覧下さい。

<理学療法:PT>



<平行棒>
歩行困難なときに両側の手すりにて体重を支持して歩く練習や立つ練習を実施します。



<自転車エルゴメーター>
自転車を駆動する要領で行ないます。負荷の設定が可能で体力、筋力の向上を目的に使用します。



<階段昇降>
階段の昇り降りを練習します。両側の手すりにて体重を支持して昇降することが可能です。10cm段、20cm段の2つの段があり、患者様のニーズに沿って使用しています。



<ティルトテーブル>
患者様の体重を利用し足首の矯正と起立練習に使用します。0度から90度まで傾斜角度が設定でき自重調整が可能です。

<歩行補助具>



四脚杖



歩行器

T字杖

短下肢装具

T字杖や歩行器などがあります。また短下肢装具（足首につけ歩行を補助する装具）もあります。主に歩行を補助するために使用します。

<温熱療法:ホットパック>



最も頻度が多い物理療法の一つです。熱伝導により患部（主に膝・腰）を温め、疼痛の緩和、血行の改善、筋などの軟部組織の柔軟性を改善を図ります。



<牽引療法:腰椎牽引>
牽引療法の効果は、椎間関節周囲の離開や軟部組織の伸張、循環改善・促進などがあります。適応疾患は、腰椎症性神経根症、腰椎椎間板変性症、腰椎椎間板ヘルニアなどがあります。

<作業療法:OT>

○手の運動



<ペグ>
腕の動きや指先の細かい動きの維持・拡大を目的に使用します。大、中、小と大きさに違いがあり、指でつまんで移動させる事で指先の運動を促します。



<フーリー>

腕を上下に動かして、肩の動きを引き出します。また腕に重りを巻いて使用することで、肩や腕の筋力を向上させます。



<サンディング>

両腕の引き伸ばしや麻痺により力が入らない腕を力のあるもう一方の腕を用いて一緒に動かすことで関節の可動性を維持したり刺激を与えることで、運動神経への活性化や脳の活性化を促します。



<ピンチエクササイザー>
手の握力の維持・向上を目的に使用します。
各色で力の度合いが違っています。
洗濯バサミを挟む高さや太さにより
調整できるようになっています。

○頭の体操



<パズル>
頭の体操を目的に行います。
丸や三角などの様々な形を視覚や手を使い型に合わせる
ことによって脳の活性化に働きます。

○生活



<自助具>
自助具を使用すると（人に頼んであきらめていたことを）自分で行えるようになります。
それにより、体の不自由な人の生活の幅が広がります。生活が積極的なものとなります。
自立を高めるための手段の一つです。



<言語聴覚療法:ST>



<オーディオメーター>
左右耳の聴力の測定を行い聴力障害の有無を判断するものです。
ヘッドフォンを装着し、そこから音が聞こえたらボタンを押すなどの
方法で行います。



<聴診器>
食物摂取などの際に、音を聞いて飲み込んだかどうかや
喉の部分へ食物が残っていないかなどを
確認します。

○口腔ケア用品

<バイトブロック>
開閉困難な方に対して用い
る器具です。
訓練者が指に装着して、
患者様の上下歯の間に挟
み、口腔ケアなどを行います。

<ゴム手袋>



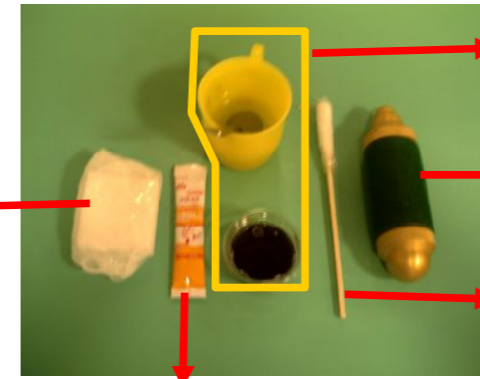
<スポンジブラシ>
口腔ケアの際などに、
口腔に付着した痰や唾液を
除去するために使用しま
す。

<ハイセガーゼ>

<オーラルバランス>
口腔内が乾燥している際、乾燥部分を湿潤させるために用います。

○嚥下訓練用品

<ゴム手袋>
<ハイセガーゼ>



<果汁ゼリー>
とろみ付き水分

<アイスクリッカー>
口腔外のアイスマッサージに
用いる器具です。

<アイス棒>
口腔内のアイスマッサージをする用具です。
アイス棒はガーゼに水分を湿らせ凍らしたものです。

<増粘剤（とろみ剤）>



<絵カード>
様々な言語障害に対して用います。
患者様によって使用目的が異なります。



<コミュニケーションノート：トーキングエイド>
口頭でのコミュニケーションや書字動作が困難な場合など、
口頭コミュニケーションの補助、代替をするために用います。